

2019年度 秋冬学期

タンデム学習・ワークショップ

みなさん、こんにちは。タンデム学習プロジェクト・チームです。もう 2020 年になりましたが、みなさんのタンデム学習は順調でしょうか？まだまだ寒い季節が続きますが、風邪をひかないように気をつけてくださいね。

2019 年 12 月 9 日(月)に文法経本館の中庭会議室でタンデム学習プロジェクトのワークショップを行いました。参加してくれたみなさんとタンデム学習プロジェクト・チームのメンバーがタンデム学習について話し合いました。

ワークショップの時に話し合ったことをまとめてみました。みなさんの学習の参考になれば幸いです。

○ タンデム学習でどんな学習活動をやってみたか？

・日本語を勉強するテキストとして、外国人向けの教科書より、日本の中学生向けの教科書を使っている。

・日中翻訳の練習をする。

・博士課程の過去問を学習する。

・日本語の試験の本をテキストとして使って学習する。難しい単語について話し合っ、会話でも実際に使ってみる。

・韓国語のテキストを使って、韓国に旅行するときに役に立つ表現を学ぶ。

○ タンデム学習でどんなふうにパートナーの学習を助けているか？

・パートナーが教科書に書かれた会話を朗読するときに、発音を訂正して、言葉の意味と使う

場面について説明する。教科書の内容に即して日常会話もする。

・前もって書いた文章をタンデムセッションの最初にパートナーと交換して、互いの文章を添削する。

・パートナーの発表のレジメや研究計画書の作成を手伝う。

・英語を学習したいパートナーの時間において、英語を用いて会話する。パートナーの間違いをすぐ訂正し、もっと適切な話し方があったら後でパートナーに教える。

・パートナーが前もって集めた中国語学習の問題に答える。中国語の聴解の問題を読んであげて、その後で説明する。ときにはそれらの問題に関連することはや表現も教える。

○ タンデム学習をやって困ったところとその解決策

・「パートナーとの専攻が異なるので、パートナーがゼミ発表するときを使うレジメにアドバイスしにくい。」

⇒パートナーと同じゼミの人のレジメを持ってきてもらい、参考にする。

・「忙しくて時間が取れない時期がある」

⇒メールなどでのやりとりを増やすか、ほかの時期に会う回数を増やす。

・「パートナーの中国語の使い方は、意味が通じていて、間違っていないが、少し不自然なときは教えるべきかどうか悩んでいる。」

⇒もう一度パートナーと話し合っ、「通じればいいので教えなくてもいい」のか、「正しくて適切な

表現が学びたいので教えてほしい」のか、パートナーの意見を聞いてみる。また、「間違ったらすぐ訂正する」のか、「言い終わるまで割り込まないでほしい」のか、訂正するタイミングももう一度確

認してみよう。

○ 今回のワークショップは役立ったか？

- ・外国人向けの教科書のほかに、日本の中学生向けの教科書も使ってみたい。
- ・パートナーの発表のレジユメの作成は、パートナーと同じゼミの人のレジユメに参考にしてやってみたい。
- ・パートナーの話にある間違いを訂正するタイミングが重要だと感じた。
- ・パートナーのニーズに応じて手助けをしたいので、学習方法についてきちんと話し合うことが重要だと感じた。
- ・いろいろな学習方法を知れてよかった。